

岩手県感染症週報

平成15年第19週（5月5日～5月11日）

岩手県結核 感染症情報センター

第19週の概要

1 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

2 類感染症

- ・北上地区から細菌性赤痢の報告が1例ありました。現在のところ感染経路は不明です。

3 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

4 類感染症（全数把握対象疾患）

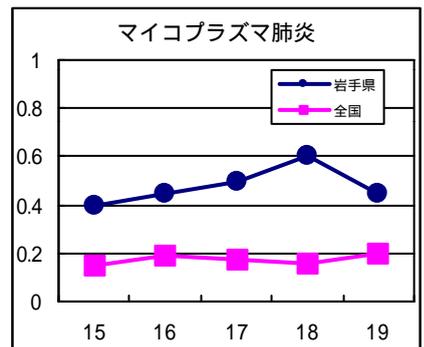
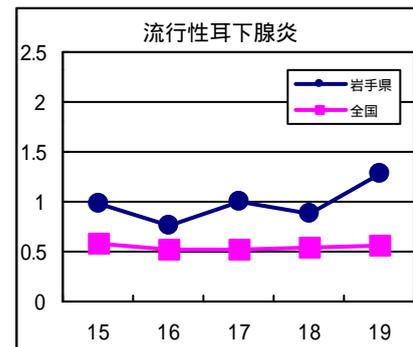
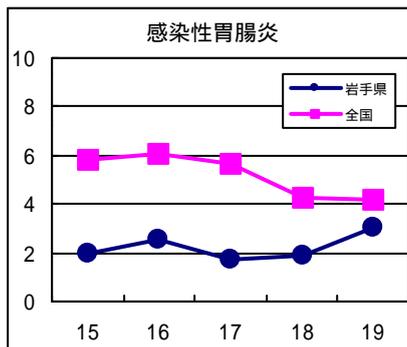
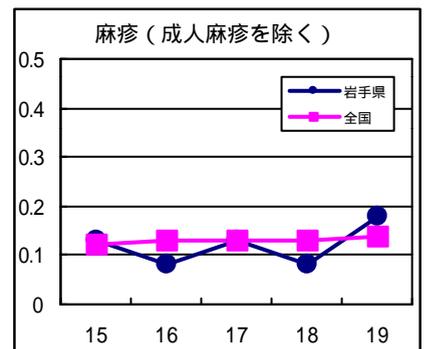
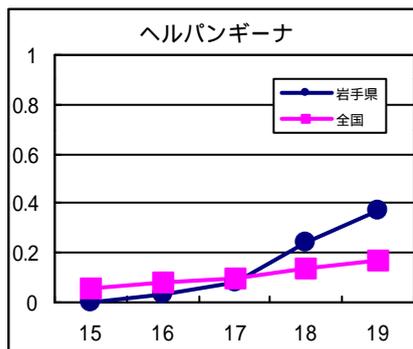
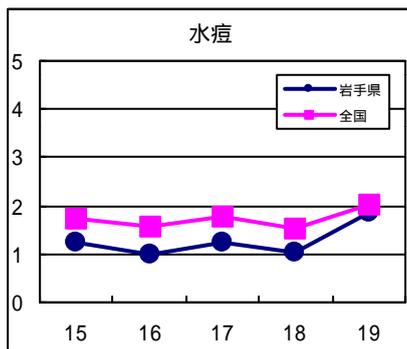
- ・患者発生の報告はありませんでした。

4 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・ゴールデンウィークが終わり、定点医療機関からの患者発生報告数は通常期に戻ったようです。これから夏にかけては小児の感染症が増加する時期なので、感染予防のため、うがいや手洗いの励行が大切です。
- ・水痘が各地で増加傾向にあります。水痘は、例年、ゴールデンウィーク明けから夏にかけての時期と、年末時期との年2回の流行があり、これから患者は増加するものと思われるので注意が必要です。
- ・ヘルパンギーナは盛岡地区で患者が増加しています。
- ・麻疹は、引き続き大船渡地区で患者が発生しており、この週には釜石地区でも患者の発生がありました。今後の動向に注意し、満1歳以上の乳幼児は早めに予防接種を受けることが大切です。
- ・感染性胃腸炎もまた増加傾向にあり、盛岡、北上、久慈地区で患者数が多くなっています。
- ・流行性耳下腺炎は、大船渡、釜石地区でやや患者数が多くなっています。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向
		15	16	17	18	19	
インフルエンザ	岩手県	1.37	1.21	0.63	0.23	0.13	↘
	全国	0.71	0.51	0.26	0.14	0.06	
咽頭結膜熱	岩手県	0.03	0.05	0.08	0	0	→
	全国	0.09	0.13	0.16	0.14	0.19	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.55	0.68	0.63	0.76	0.5	→
	全国	0.9	1.2	1.26	1.03	1.14	
感染性胃腸炎	岩手県	2	2.58	1.76	1.89	3.03	↗
	全国	5.85	6.05	5.66	4.25	4.14	
水痘	岩手県	1.24	1	1.24	1.03	1.87	↗
	全国	1.75	1.57	1.77	1.53	2.01	
手足口病	岩手県	0	0.08	0.03	0.05	0.03	→
	全国	0.15	0.21	0.24	0.3	0.3	
伝染性紅斑	岩手県	0.34	0.24	0.11	0.18	0.13	↘
	全国	0.23	0.28	0.23	0.24	0.21	
突発性発疹	岩手県	0.32	0.47	0.66	0.34	0.55	→
	全国	0.8	0.82	0.77	0.6	0.67	
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0	
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.03	0.04	0.04	0.03	0.04	
ヘルパンギーナ	岩手県	0	0.03	0.08	0.24	0.37	↗
	全国	0.06	0.08	0.1	0.14	0.17	
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0.13	0.08	0.13	0.08	0.18	↗
	全国	0.12	0.13	0.13	0.13	0.14	
流行性耳下腺炎	岩手県	0.97	0.76	1	0.87	1.29	↗
	全国	0.58	0.53	0.53	0.54	0.56	
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.04	0.04	0.02	0.04	0.04	
流行性角結膜炎	岩手県	1.25	0.5	1	0.83	0.83	→
	全国	0.88	0.81	0.89	0.79	0.91	
急性脳炎（日本脳炎を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0	0.01	0.01	
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.02	0.03	0.01	0.02	0.03	
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.4	0.45	0.5	0.6	0.45	→
	全国	0.15	0.19	0.17	0.16	0.2	
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.03	0.05	0.05	0.03	0.06	

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

分類	疾病名	岩手県					全国		
		15	16	17	18	19	累計	19	累計
一類感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	8
	細菌性赤痢	0	0	0	0	1	8	9	173
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	26
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	12
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	0	14	182
四類感染症	アメーバ赤痢	0	0	1	0	0	2	6	174
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	1	10
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	1	0	17
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	1	0	1	1	0	6	18	340
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	3
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	1	39
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	28
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	8	304
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	24
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	10
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	0	6	46
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	11
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳児ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	1	3	166
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	22
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	23
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	27
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	0	46	
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

今注目の感染症

重症急性呼吸器症候群（SARS）

[概要]

重症急性呼吸器症候群（SARS）について、世界保健機関（WHO）は昨年11月1日から5月15日までに、世界32カ国・地域でこれまでに7699人が感染し、598人が死亡したと発表しました。

5月15日現在の「最近の地域内伝播」が疑われる地域は以下のとおりです。

中国・北京(C)	中国・広東省(C)	中国・河北省(B)	香港特別行政区(C)
中国・湖北省(A)	中国・内蒙古自治区(C)	中国・吉林省(B)	中国・江蘇省(A)
中国・山西省(C)	中国・陝西省(A)	中国・天津(C)	台湾・台北(C)
フィリピン・マニラ(B)		シンガポール(B)	

注) (A,B,C)は地域内伝播のパターンを表し、A,B,Cの順で地域内伝播が深刻な状況である。

厚生労働省は5月1日、中国本土と香港からの帰国者に対し、帰国後10日間は 家族・友人を含め、人と会うのは最小限とし、濃厚な接触はさける、 外出時はマスクをできるだけ着用する、 発熱、せき、呼吸困難のうち、ひとつでも症状が出た場合には、 予約を取ってから保健所や医療機関を受診する、 帰国者と接触した人に症状が出た場合も、保健所に電話で相談し指示に従う、ことを求めています。

[症例定義]

厚生労働省はSARS疑い例及び可能性例の届出のための症例定義を定めました。（5/8改正）

疑い例

2002年11月1日以降に以下の全ての症状を示して受診した患者で

- ・38度以上の急な発熱
- ・咳、呼吸困難感などの呼吸器症状

かつ、以下のいずれかを満たす者

- ・発症前10日以内に、SARSの症例を看護・介護するか、同居しているか、患者の気道分泌物、体液に触れた者
- ・発症前10日以内に、SARSの発生が報告されている地域に旅行した者
- ・発症前10日以内に、SARSの発生が報告されている地域に居住していた者

可能性例

疑い例のうち、次のいずれかを満たす者

- ・胸部レントゲン写真で肺炎、または呼吸窮迫症候群の所見を示す者
- ・原因不明の呼吸器疾患で死亡し、剖検により呼吸窮迫症候群の病理学的所見を示した者
- ・SARSコロナウイルス検査の一つまたはそれ以上で陽性となった者

[予防方法]

SARS対策の7原則

最新の発生状況を把握し、できる限り流行地域には行かない。

流行地域から帰国して症状が出たら、家族との接触を避け、医療機関に電話などで連絡してから受診する。

十分な流水による手洗い、うがいを徹底する。（流行地域での注意）

電車、娯楽施設など不特定多数の人が集まる場所はできる限り避ける。（流行地域での注意）

不特定多数の人が触れるものをさわった手で、口、鼻、目などをさわらない。（流行地域での注意）

飛沫を防ぐよう、マスクをする。ウイルスを完全に遮断するには、医療用マスクが必要。（流行地域での注意）

バランスのよい食事、十分な睡眠で免疫力を維持する。

病原体検出情報

この週に検出した病原体はありません。

集団感染情報

この週には、集団感染情報はありません。

医療機関からの情報

盛岡地区の医療機関（小児科）から

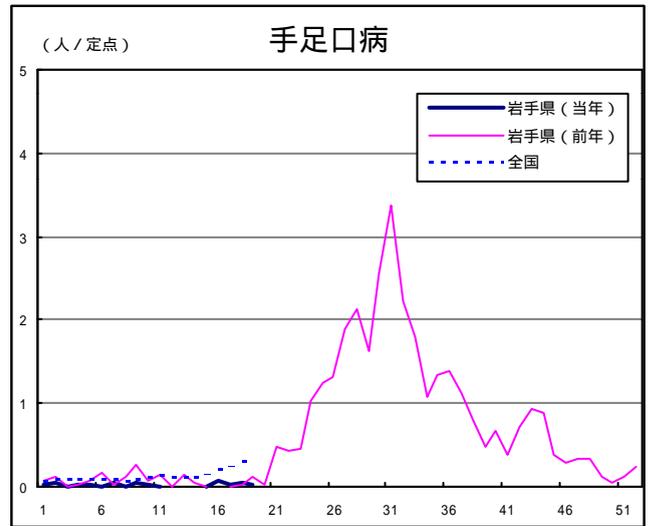
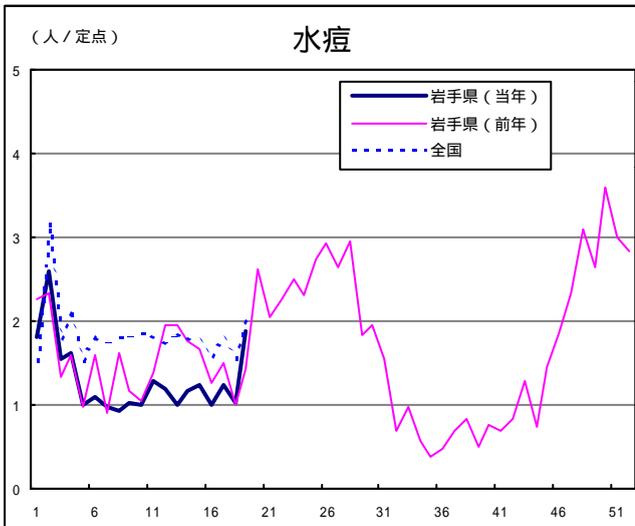
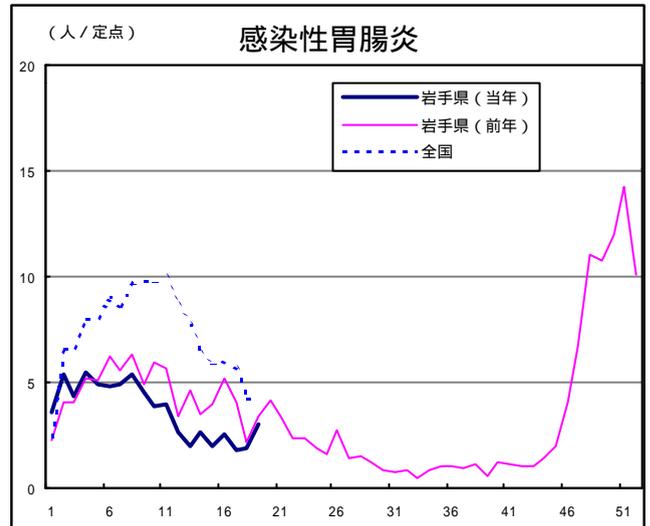
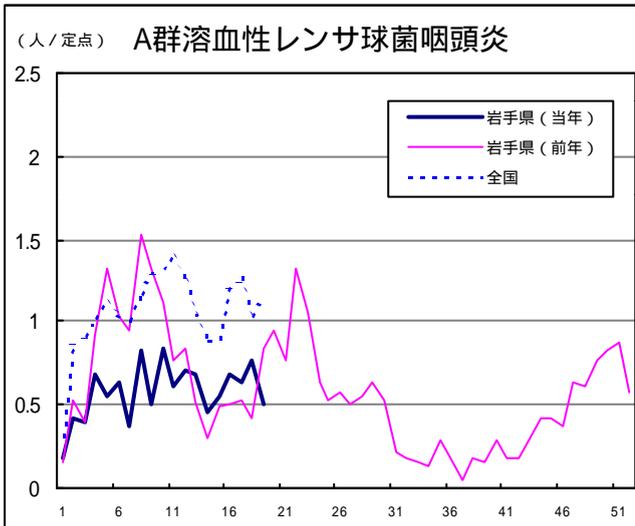
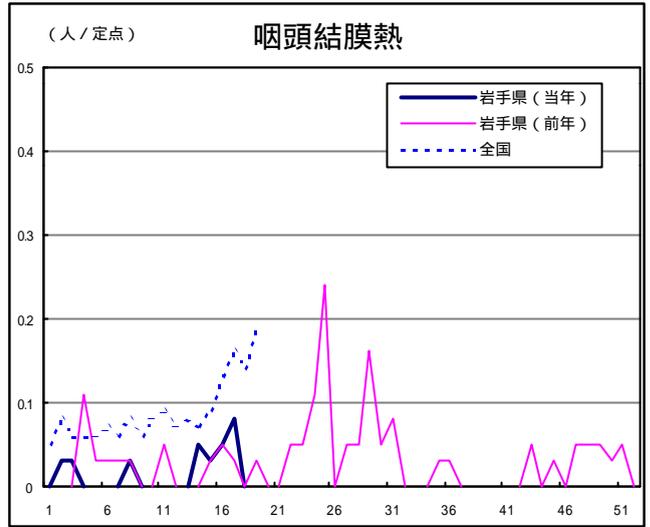
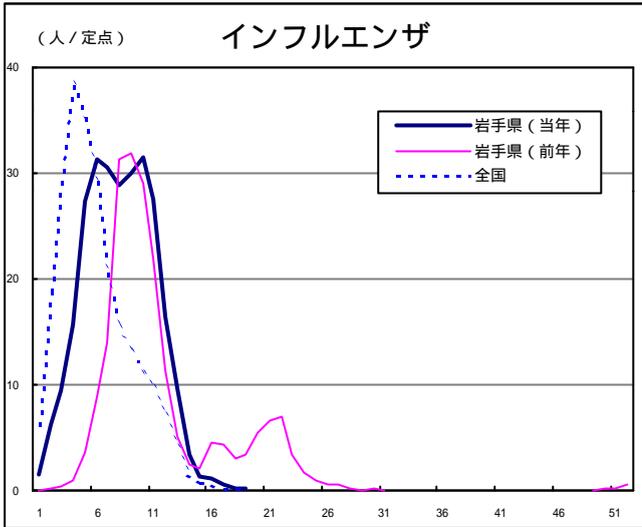
- ・最近、嘔吐の症例が増加しています。ウイルス性と考えられます。

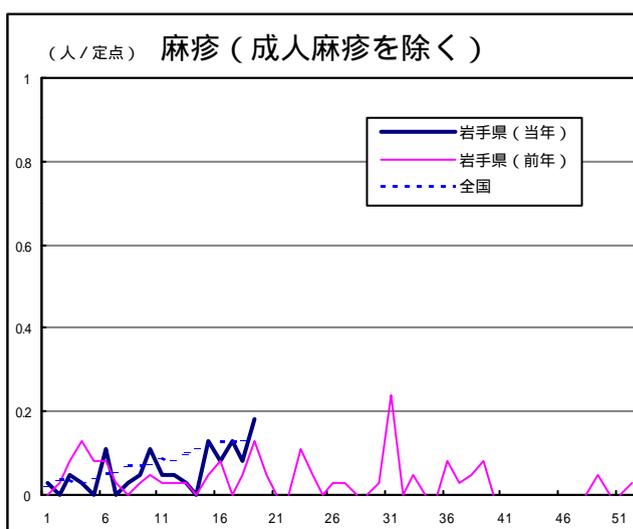
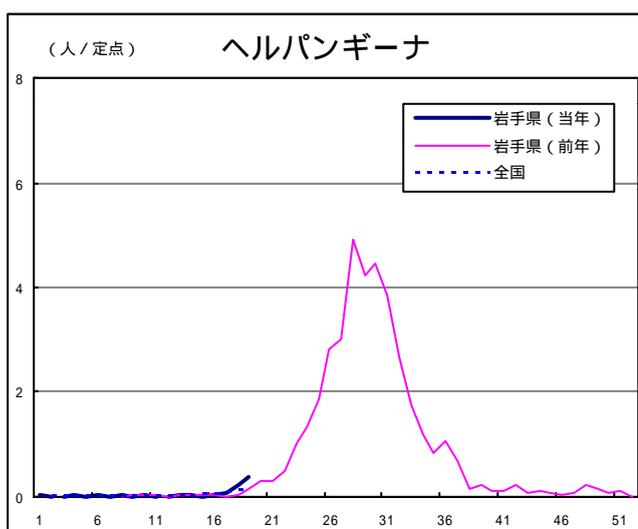
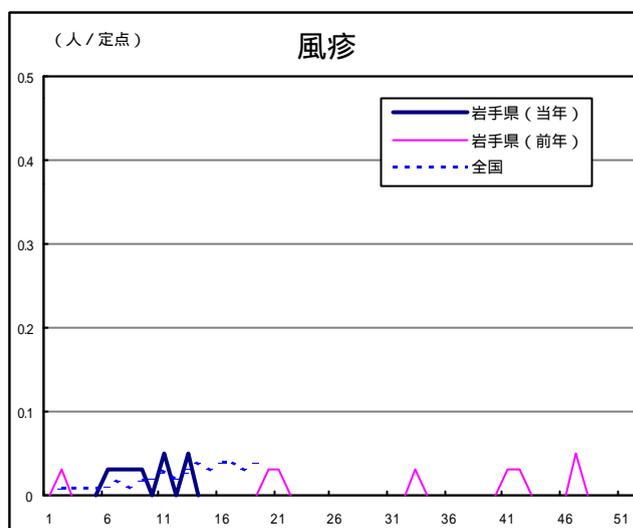
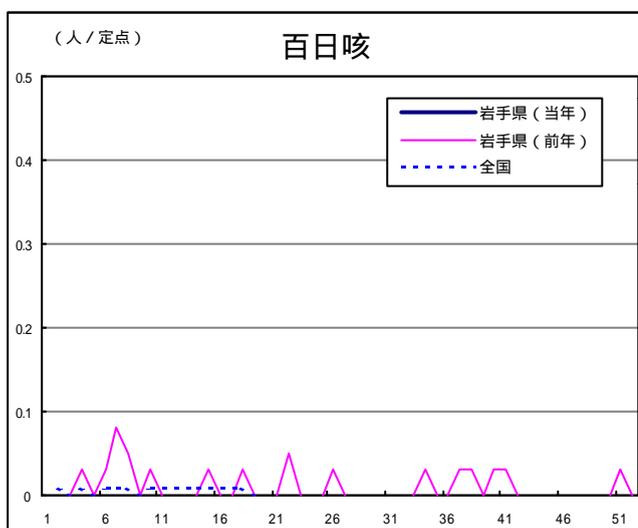
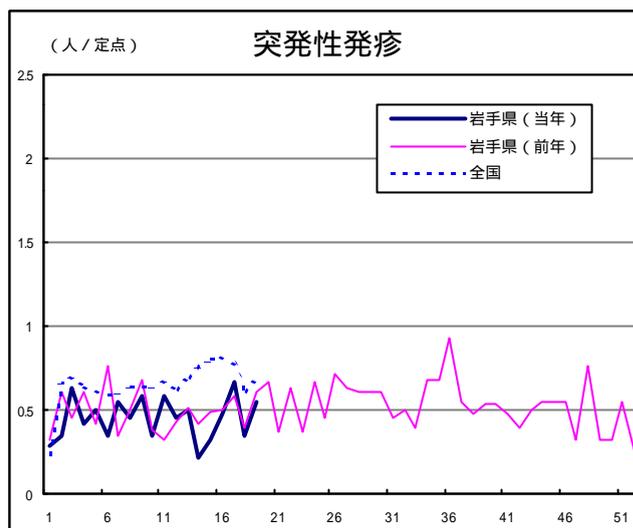
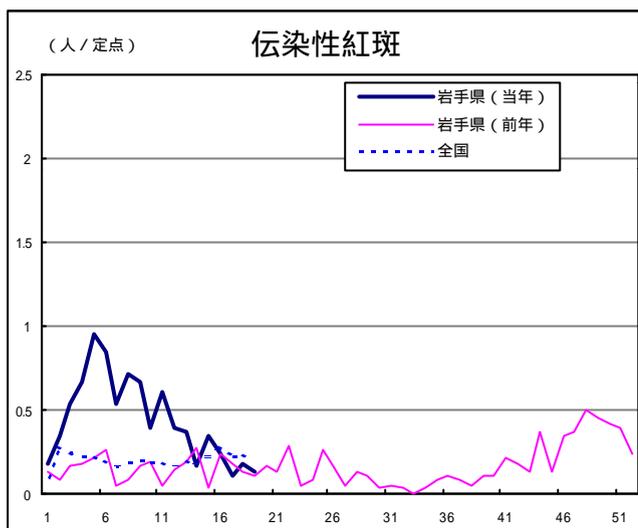
Q & A

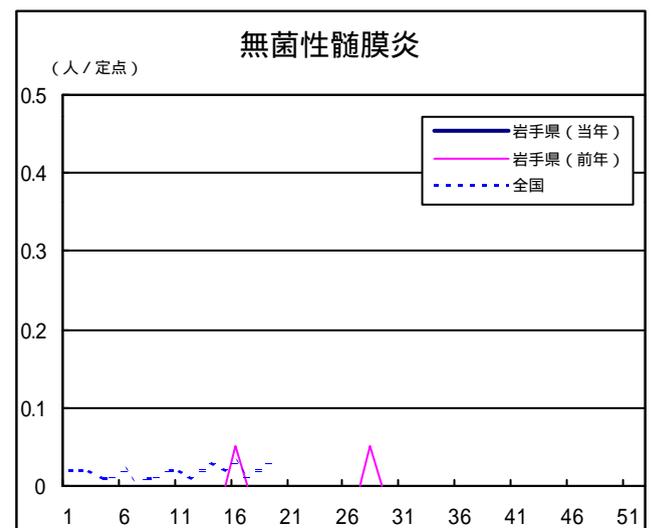
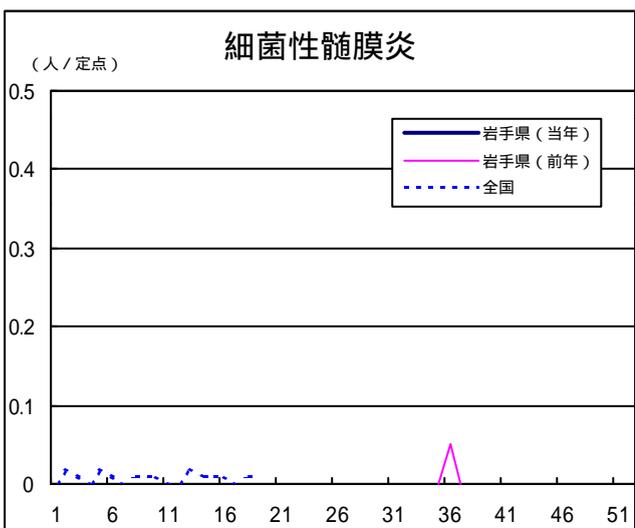
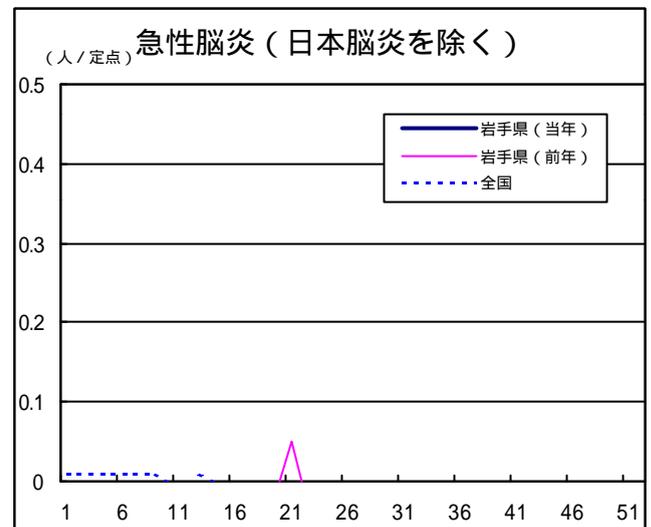
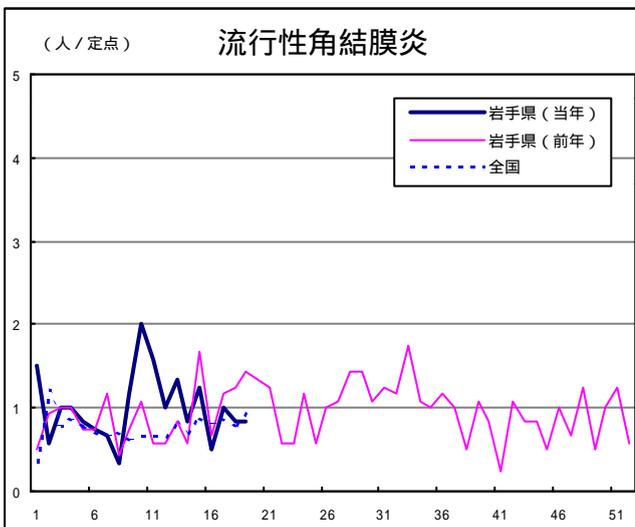
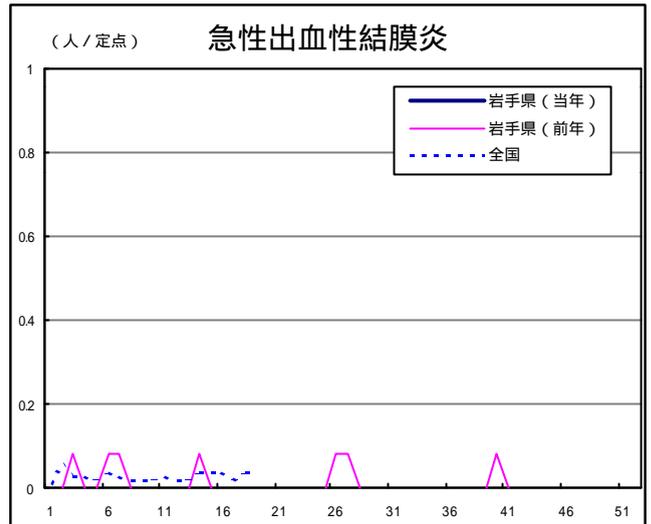
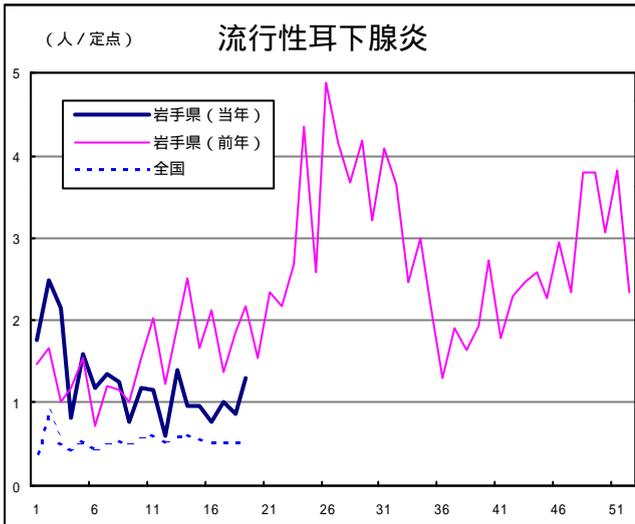
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

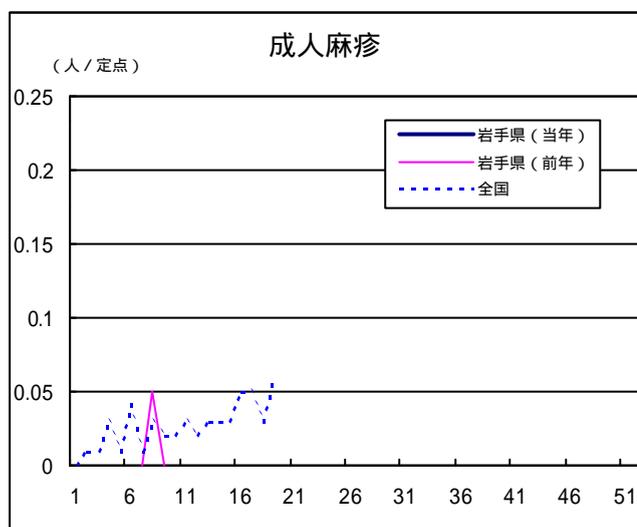
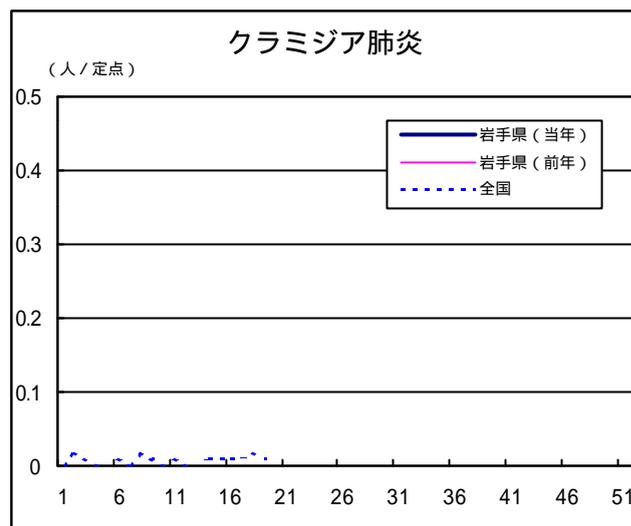
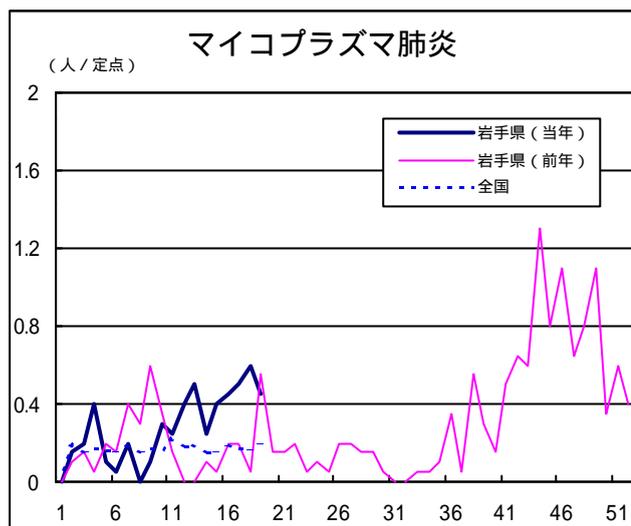
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail : CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成15年第19週 平成15年5月16日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>